



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社セリア 上場取引所 東
 コード番号 2782 URL <https://www.seria-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 映治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経営企画室長 (氏名) 三宅 奈津子 TEL (0584) 89-8858
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	160,698	1.9	12,873	△22.5	12,952	△23.3	8,701	△23.7
2022年3月期第3四半期	157,751	5.1	16,620	3.2	16,895	4.5	11,404	4.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	115.64	—
2022年3月期第3四半期	150.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	124,379	95,898	77.1	1,274.56
2022年3月期	122,699	92,458	75.4	1,228.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 95,898百万円 2022年3月期 92,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2023年3月期	—	35.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	214,000	2.8	15,000	△28.3	15,000	△29.7	10,000	△30.1	132.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、[添付資料] P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	75,840,000株	2022年3月期	75,840,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	600,398株	2022年3月期	600,398株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	75,239,602株	2022年3月期3Q	75,839,669株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	7
(1) 仕入及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のわが国経済は、中国でのロックダウンなどによる供給制約の影響や輸入原材料価格の高騰などによる下押し圧力を受けているものの、個人消費への感染症の影響が和らぐもとの、基調としては緩やかに持ち直しています。しかし、中国を中心とした感染症の帰趨やその影響、ウクライナ情勢や世界的なインフレとそれを受けた各国の金融政策の影響など、今後の動向には細心の注意が必要と思われます。先行きにつきましては、感染症の影響が徐々に和らいでいくもとの回復基調をたどることが期待されますが、物価上昇に伴う実質所得面からの下押し圧力が、個人消費に一定の影響を及ぼす可能性があるなど、きわめて不確実性が高い状況にあると考えられます。

小売業界におきましては、行動制限が解除され、コロナ禍で苦戦していた企業の業績が回復する一方、巣ごもり需要の反動の影響が見られました。急激な円安や原材料コスト上昇を受けて消費者物価は上昇傾向にあり、今後の感染症の動向および消費者動向を注視する必要があると考えております。

このような状況のなか当社は、「試練を乗り越え、勝ち残る」をテーマとして、①商品スペックの見直しによる原価上昇抑制に注力、②複数出店案件が見込める企業との関係強化及び未出店地域の重点開拓、③システムを活用した社内全体の効率化追求に取り組んでおります。セルフレジにつきましては、当第3四半期累計期間において618店舗に導入、設置店舗数は12月末で876店舗となりました。利用率は上昇傾向にあり、順次導入を進めております。

出退店につきましては、当第3四半期累計期間において、出店が直営店98店舗、退店が直営店27店舗、F C店4店舗と、直営店出店において計画比遅れが出ており、当四半期末の店舗数は、直営店1,904店、F C店39店の合計1,943店となりました。

直営既存店売上高は、巣ごもり需要の反動等により、当第3四半期累計期間において前年同期比97.4%となりましたが、10月以降、幾分持ち直しております。

主要経営指標につきましては、売上原価率は、円安や原材料コスト上昇の影響により、57.8%と前年同期比1.2ポイント上昇しました。また、販売費及び一般管理費につきましても、既存店売上高が前年同期を下回ったこと等により、売上高に対する比率が1.3ポイント上昇したため、当第3四半期累計期間の売上高営業利益率は8.0%（前年同期10.5%）となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,606億98百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は128億73百万円（前年同期比22.5%減）、経常利益は129億52百万円（前年同期比23.3%減）、四半期純利益は87億1百万円（前年同期比23.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末比16億79百万円増加し、1,243億79百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が減少したことなどにより1億38百万円減少しました。固定資産は、新規出店や既存店のリニューアルに伴い有形固定資産が増加したことなどにより18億18百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前期末比17億60百万円減少し、284億81百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が減少したことなどにより24億34百万円減少しました。固定負債は、資産除去債務が増加したことなどにより6億74百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前期末比34億39百万円増加し、958億98百万円となり、自己資本比率は前期末から1.7ポイント上昇し77.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は概ね計画どおりに推移しており、2022年10月31日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,246	53,034
売掛金	648	1,778
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	18,987	19,067
前払費用	1,006	1,060
預け金	6,029	6,833
その他	153	158
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	85,067	84,928
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	18,258	19,206
その他(純額)	3,776	4,164
有形固定資産合計	22,034	23,371
無形固定資産	100	95
投資その他の資産		
敷金及び保証金	12,855	13,335
その他	2,696	2,703
貸倒引当金	△55	△54
投資その他の資産合計	15,496	15,983
固定資産合計	37,631	39,450
資産合計	122,699	124,379
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,580	12,306
未払費用	3,622	4,208
未払法人税等	3,945	942
賞与引当金	727	359
資産除去債務	29	49
その他	3,460	3,063
流動負債合計	23,365	20,930
固定負債		
退職給付引当金	390	385
役員退職慰労引当金	350	340
資産除去債務	4,758	5,493
その他	1,376	1,330
固定負債合計	6,875	7,550
負債合計	30,241	28,481

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,278	1,278
資本剰余金	1,419	1,419
利益剰余金	91,518	94,953
自己株式	△1,740	△1,740
株主資本合計	92,476	95,910
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17	△12
評価・換算差額等合計	△17	△12
純資産合計	92,458	95,898
負債純資産合計	122,699	124,379

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	157,751	160,698
売上原価	89,364	92,956
売上総利益	68,387	67,741
販売費及び一般管理費	51,767	54,867
営業利益	16,620	12,873
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	3	3
受取家賃	15	15
受取保険金	3	16
受取補償金	90	12
助成金収入	143	8
その他	25	42
営業外収益合計	286	102
営業外費用		
支払利息	8	7
固定資産除却損	0	8
その他	2	8
営業外費用合計	11	23
経常利益	16,895	12,952
特別損失		
減損損失	172	88
特別損失合計	172	88
税引前四半期純利益	16,722	12,864
法人税等	5,318	4,163
四半期純利益	11,404	8,701

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績を商品区分別に示すと、次のとおりであります。

商品区分	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	91,472	104.1
菓子食品	1,441	100.2
その他	123	148.8
合計	93,036	104.1

(注) その他には、消耗品費への振替高等が含まれております。

② 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を商品区分別、事業部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

a. 商品区分別売上高

商品区分	売上高(百万円)	前年同期比(%)
雑貨	158,644	101.9
菓子食品	1,892	101.8
その他	160	101.4
合計	160,698	101.9

(注) その他には、店舗に設置した自動販売機等の手数料収入等が含まれております。

b. 事業部門別売上高

事業部門	売上高(百万円)	前年同期比(%)
直営売上高	158,483	101.9
FC売上高	1,539	96.6
その他	674	98.6
合計	160,698	101.9

(注) 「その他」の区分は「卸売等売上高」「海外売上高」の合計額を表示しております。

c. 地域別売上高
(直営売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第3四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	17,904	100.2	231	7	1
関東甲信越地方	55,780	103.3	616	41	9
東海北陸地方	29,067	102.1	399	20	9
関西地方	27,754	101.1	305	16	4
中国四国地方	11,658	99.8	151	8	1
九州沖縄地方	16,318	101.8	202	6	3
合計	158,483	101.9	1,904	98	27

(FC売上高)

地域別	売上高合計		店舗異動状況(店舗数)		
	金額(百万円)	前年同期比(%)	当第3四半期会計期間末店舗数	出店数	退店数
北海道東北地方	195	80.7	5	0	2
関東甲信越地方	63	93.7	5	0	1
東海北陸地方	140	91.7	5	0	1
関西地方	25	93.6	3	0	0
中国四国地方	66	100.2	4	0	0
九州沖縄地方	1,048	101.1	17	0	0
合計	1,539	96.6	39	0	4

(注) 地域別の区分は次のとおりであります。

北海道東北地方……………北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越地方……………茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸地方……………富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地方……………滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国四国地方……………鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州沖縄地方……………福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県